

長崎原爆犠牲者を弔く

県原水協常任理事 内田 武志

穴弘法寺に登る途中、長崎医科大学の救護所に指
経の峰の墓地は「原爆 定されていた。生き
死」昭和二十年八月九日 残った大学関係者や市民
死亡」と刻まれた墓碑が が登ってきましたが、多
目につきます。一家で六 くは、ここで亡くなりま
人が同日、犠牲になった した。戦後すぐに建立さ
ことを示す墓誌もありま れた原爆殉難者供養地蔵
す。いまでも爆風で傾いた 尊があります。
ままの石塔、破壊された 奥の院（霊泉寺）は湧
まま、修復されていない 水（ゆうすい）が有名で、
お墓も残されています。 多くの被爆者が水を求め
穴弘法は、非常の際、 て登ってきました。ま

穴弘法奥の院（霊泉寺）

江平1丁目



下半分をなくした地蔵尊

500もの被爆地蔵尊

⑧

た、浦上から金比羅山を
越え旧市街方向に避難す
る通り道でしたが、この
地で息絶えた人も少なく
ありません。

金比羅山の高射砲陣地
跡に立つ「慰霊碑」は、
この場所でもた原爆直後
の姿を「その惨状阿修羅
地獄といわんか」と刻ん
でいます。

穴弘法には錫杖（しゃ
くじょう）を持つ手を熱
でふさがれた像、下半身
を失った像、頭部のない
像、割れた頭部など、約
五百もの被爆地蔵尊があ
ります。もし生身の人間
であったらと息をのみま
す。

寺域に稻荷社もあり、
爆風で倒れた鳥居の足が
石段に立てかけたように
置かれています。また、
ずれていまにも落ちそう
な巨岩を見ることもでき
ます。

八月九日の平和式典で
の献水の水は、霊泉寺か
らも運ばれます。

（つづく）